

巻頭言 2

人間が資本を支配する時代
—キブツはそれを教えている— 手塚 信吉 4

キブツの価値観の検討 (その2) ハリー・シェンケル 11

第四次中東戦争とキブツ研修生 手塚 信吉 15

武力による平和は一時のものだ!! 野口 晃 治 19

イスラエル通信 キブツ研修生 23

後奏曲 ブラジルから 増田 哲夫 25

イギリス人のみた日本の共同体 スーザン・コパード 27

五年目を迎える共済会・その活動 31

コミュニナール閉話
荒廃する山間の村 弥栄之郷より 37

根拠地建設に向けて準備会への誘い 折内和喜 38

告知板 41

協会日誌 42

編集後記 43

ENGLISH THOUGHTS ON
JAPANESE COMMONES Susan Coppard 48

編集部 / 奥村久雄・畠中正夫

月刊キブツのスタイル変更のお知らせ

本誌月刊キブツは、昭和三十八年十二月の創刊号以来十年、通巻一一三号の発行を数え、協団体思想精神の普及を目的として、日本の協団体運動の一役を果して参りました。この月刊誌が十年間継続してこられたのは、読者の方々のあたたかい御支援は申すまでもなく、創始者であり主筆であった手塚信吉氏の経済的援助、家の光協会、その他の法人会員及び個人会員の莫大な経済的援助、イスラエル大使館の協力、そして、金銭的な報酬をかえりみず、本誌の制作に献身的な努力を捧げたすべての人々の協力の賜であります。このようにして続いて参りました月刊キブツではありますが、諸物価の高騰、特に紙の値上りと品不足はいちじるしく、また、編集にたずさわる人達の生活費も、現状のままではどうにもならず、従来通りの雑誌の形で発行を続けることが不可能になりました。そこで、昭和四十九年一月号よりB5判の新聞の形をとらざるを得なくなりました。

購読料(キブツ会々費)は、今まで年額二千円でありましたが、昭和四十九年一月より、一年分を壹千円にすることになりました。すでに年額二千円の割でお納めいただいた方につきましては、残りの分を年額千円の割に換算して、引続き月刊キブツを送付させていただきますので、御了承下さいますようお願い申し上げます。尚、今後とも皆様方のよりいっそうの御協力、御支援を御願い申し上げます。

月刊キブツ発行人 宮部一郎